

三原市民と市長の「みらいトーク」(第12回) 実施結果

令和4年4月21日(木)

- 目的 市長が地域や団体の活動の場に出向き、市民との対話を通じて市政やまちづくりに対する積極的な意見や提案を広く聴く「三原市民と市長のみらいトーク」を実施し、今後の市政運営に活かすとともに、市民の市政への参画機会の充実を図ること。
- 日時 令和4年4月21日(木)17時30分～19時
- 場所 三原市役所本庁舎 4階第1応接室
- 参加者 縁結びサポーター(5人)、三原市長
- 内容 各項目について市長が質問し、参加者から意見を聴取

1 縁結びサポーター(以下「サポーター」という。)の活動をするうえで苦勞したこと

(参加者の意見)

- ・「サポーターをして結婚支援をしている。」と言ったら「詐欺師」と言われた。市から渡された(サポーターの)認定証を見せたら信じてもらえた。
- ・結婚観が変わってきており、結婚の動機付けが難しい。いつかは結婚できと思っているが、なかなか出来ないものである。その自覚をしてもらえない。問いかけも難しい。ハラスメントだと捉えられかねないため、言い出すのも難しい。特に若い人には言いにくい。プロフィールシート(以下「シート」と言う。)も渡しにくい。反感を持たれかねない。

※プロフィールシート：結婚希望者から提出していただく自己紹介用シート

- ・コロナでシートを集めるのも今はなかなか難しい。ご近所さんや市主催の活動に参加して声掛けしているが、密かに行う必要がある。親は必ず(シートを)書いて出してくれる。しかし、たくさん貯まっても難しい。
- ・サポーターの活動の周知が足りない。まず、サポーターについての説明をするところから始めなければならない。民間の結婚相談所に登録すれば有料だが、縁結びサポーターに依頼すればタダで婚活できるので知られていないのはもったいない。
- ・サポーターのことを知ってもらえていれば、動きやすい。
- ・チラシや口コミもあるが、SNSでの周知も行っている。

(市長の意見、回答)

- ・サポーターの活動には、三原市の認定が信頼性を得ることにつながることをわかった。
- ・活動の見える化ができると活動しやすい。
- ・成婚の実績が上がった場合など、本人の了承が得られれば、コメント入りで情報発信してはどうか。
- ・周知の徹底、すぐにできることを行っていきたい。

2 市の協力が得られれば良いと思うこと

(参加者の意見)

- ・イベントで車を出してほしい。市に援助してほしい。

- ・シートをもっと気軽に集められればよいと思う。シート(紙)の管理も難しい。一元化できないか。
- ・コロナの影響で、サポーターの自主交流会がなかなかできない。シートの交換もなかなかできない状況が続いていた。サポーターの中でも、交流会に来る人と来ない人がいるのが残念。シートを出してもらっても、待たせている状況で申し訳ない。
- ・ネット化して自由にシートを見にいけるようになったらいいと思う。サポーターを知らない人が登録したい場合には、市がサポーターを紹介したり、サポーターの交流会に来てもらって自己紹介などしてもらい、担当サポーターをつけたりすればよいと思う。
- ・シートは丁重に扱うべきもの。拡散すべきではない。密かにすべきである。
- ・市役所の信頼性があるから、結婚希望者の申し込みをしっかりと受けてサポーターに紹介してくれればよい。

(市長の意見, 回答)

- ・シートはむやみに公表すべきではないが、シート作成の過程をロゴフォームなどでネット化すると、もっとたくさん集まるのではないか。
- ・「縁結びサポーターとつながりたい人はこちらにご連絡を」と言った内容で広報に掲載してもよいのではないか。
- ・HPの作成が必要である。内容は、サポーター制度の説明と結婚希望者をサポーターにつなげる分かり易い1ページを作る方向で検討してほしい。サポーターの写真を載せても良いのではないか。市のHPだけでなく、様々なメディアを利用して周知を図っていければよい。

3 その他

(参加者の意見)

- ・「身近な人に頼ってみては？アドバイスに耳を傾けて欲しい。」と言いたい。
- ・市がやっているという安心感を大切にしてもらいたい。個人情報のセキュリティもしっかりして欲しい。ボランティアなので、ノルマはない。婚活がうまくいけば、ロコミでもいいから「三原は縁がある街」と思われたい。
- ・生まれた子どもの成長を考えて結婚を考えなくてはならないと言っているが、若者達は結婚を急がない。

(市長の意見, 回答)

- ・シートの数が増えればマッチングが増える。PRできると活動しやすい。
- ・縁結びのスポット的なものがあると面白いかもしれない。明るいニュースと共に登録者を増やしていけると良い。
- ・多様な価値観を認めていくことは大切である。
- ・結婚したいと思う人が結婚できない状態を克服するためには、取り組みが必要。サポーターのみなさんと連携して進めていきたい。みんなに認めてもらえるように取り組んでいきたい。